

水道水の3ヶ月分濃縮による放射性物質の測定結果について

1 採水期間

令和2年1月～令和2年3月

2 測定方法

- 1) 水道水1日1Lを毎日採取し、電熱器により蒸発、濃縮させる。
- 2) 1)を繰り返し、3ヶ月間の合計91Lから得た濃縮液を乾固する。
- 3) 2)をゲルマニウム半導体検出器で長時間(おおよそ2日間)測定し、水道水1L当たりの放射性セシウム濃度に換算する。

3 測定結果

採水場所(水源)	放射性セシウム(Bq/kg)		
	セシウム134	セシウム137	セシウム合計
平浄水場(夏井川)	<0.0003	<0.0003	<0.0006
山玉浄水場(四時川)	<0.0003	0.0004	0.0004

※検出下限値は、測定試料毎に異なります。

例 <0.0003は、検出下限値0.0003(Bq/kg)未満であることを示しています。

以前の結果については、「水道水の3ヶ月濃縮による放射性物質の測定結果(平成24年～26年度)」及び「水道水の3ヶ月濃縮による放射性物質の測定結果(平成27年～令和元年度)」をご覧ください。

4 令和2年度の測定予定

年1回、平浄水場及び山玉浄水場の配水について、100Lの水道水を採取し、水分を蒸発させて濃縮し、放射性物質を測定します。